

TRICOLOR

大会・公式戦結果

Top

【KSL-1 リーグカップ】

▼3 位トーナメント

vs さがみ大沢 FCYL 2-5●

Youth

【県 CY リーグ】

vs 相模原 FC 3-2○

Junior Youth

【2010/2011 県 U-15 リーグ 1st ステージ】

vs 横浜市立原中学校 0-1●

小 6

【三ツ池公園少年少女サッカー大会】

▼グループリーグ

vs J SPORTS FC 0-3●

vs 篠原つばめ SC 3-0○

vs たちばなキッカーズ 1-0○

※4 チーム中第 2 位で 2 位 T へ

▼2 位トーナメント

vs 公田 SSS 3-0○

vs 駒林 SC 1-1○

※コイントスにて、2 位 T 準優勝

小 3

【SO-BUS CUP】

vs 小松原 SC 0-7●

vs 早園 FC 0-3●

vs J イレブン SC 4-0○

【草柳招待】

▼グループリーグ

vs 草柳 FC 1-4●

vs 殿入 1-3●

3 チーム中第 3 位で 5 位決定戦へ

▼5 位決定戦

Vs 北大和 1-3●

※6 チーム中第 6 位

今、グラウンドでは・・・

Top

【Happy Football Day 2010】

12 月 19 日(日)に Top チーム選手主催の Happy Football Day が行われ、小学生たちと一緒に楽しい1日を過ごしました。

毎年恒例の行事となりましたこの催し。Top チームの選手たちと試合ができる貴重な体験でもあります。一緒にサッカーをやることも貴重だと思いますが、Top の選手たちの華麗なテクニックを目の前で見られることは子供たちの練習意欲にも影響すると思います。

この日のハイライトはなんと言っても Top の林選手、小学生たちの「なんか技見せて～」の声援にお答えして、オーバーヘッドシュートを見事に決めました。これにはまわりの Top 選手からも拍手。

この催しなどで Top の選手との距離も縮まったはずですが、今度はぜひ県リーグなどの試合を観に来てもらい、小学生たちのお手本になれるようにがんばりたいと思います。

【新シーズンスタート】

みなさま、明けましておめでとうございます。昨年は大勢のみなさまの応援を受けながら、なかなか思うように成績が上がらず、申し訳ありませんでした。今シーズンは1月からスタートし、最大の目標は関東リーグへの昇格です。

そのためには、いろいろ課題があります。2011 年シーズンの課題をいくつか挙げてみると、まずは得点力のアップです。県リーグ1部の中でも失点は 12 チーム中2位の守りだったものの、得点は最下位のわずか6得点。田村監督が掲げる目標として、失点はこのままに



「1試合2得点」と言うのがあります。それを昨年の成績に当てはめてみると、9勝1敗1引き分けとなり2位になります。

次にチームのレベルアップです。当然チームとしては試合に勝つためにやっていますが、他のチームに比べそのためのモチベーションが高いとは言えません。そのモチベーションを高めるためにはまずはコミュニケーションが必要になります。選手同士でどうやったら試合に勝てるのかを話し合いながら、考えながら練習に取り組むことが必要です。それには、当然スタッフがそういう雰囲気作りや練習内容、練習の質などを考え、選手に声をかけながら取り組むことも必要です。

さらにクラブチームの最高カテゴリーとして、かながわクラブへの貢献とともに、地域総合型スポーツクラブの一員という自覚を持ち、地元の人たちにも応援してもらえるようなチームになることです。昨シーズンも大勢の方々に応援いただきましたが、応援が多いほど選手モチベーションも上がります。そのために「結果」も「試合内容」も伴わなければ Top チームサポーターは増えません。

今年は田村監督就任3年目、勝負の年です。必ずよい結果を出せるようにがんばりたいと思います。今年も Top チームの応援よろしく願いいたします。

(中本 洋一)

Youth

12月末、3年生最後の試合が終わりました。今年はチームの強化を図るべく、元 J リーグ監督の田中孝司さんをお迎えしました。妥協を許さず、経験に裏打ちされたきめの細かい指導で、選手たちはずいぶんと成長しました。しかし、それが必ずしも自信にはつながらないようで、試合ではなかなか勝つことができないでいました。失点するとあわててしまい、思うようにプレーできずにイラついてしまい自滅。同点で終盤になると、考えられないミスで失点。そこそこの質の高いプレーを披露していながらも、いつも同じパターンで負けてしまう。3-0

のリードを守りきれず逆転され、ロスタイムでなんとか追いついたこともありましたが、それにより余計に自信を失ってしまうことの悪循環が続き、怪我や病気で離脱する人も出てきて、チームは厳しい状況になりました。テスト期間にばらつきがあるため、数名での練習が続くこともありましたが、それでも最後まで放り出すことなく、選手たちは頑張って練習にきました。そして最後は、公式戦と練習試合を4連勝で終わることができました。少しだけ自信をもってプレーできるようになりました。失点しても奪い返すだけの力をつけました。そして、仲間を大切に思う気持ちをみんなが持ってくれるようになりました。もう少しこのメンバーで続けられれば、もっとよくなるのはわかっているのですが、年齢制限のあるカテゴリーだけに残念です。3年生はお疲れ様でした。この先みんな進む道は違うとは思いますが、いつでも戻って来れるように待っていますし、今年以上に強いチームを作るつもりです。しかし、まずはもっと仲間を増やさないといけないですね。

(内田 佳彦)

Junior Youth

【新年スタート】

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

2011年のジュニアユースは、新年早々から慌ただしく動き出します。

年明け最初の練習試合を皮切りに、1/8(土)~1/10(月/祝)の2泊3日で恒例の J-VILLAGE 遠征、翌週の1/15(土)・1/16(日)には熱海で開催される招待大会への参加、そして、県 U-15 リーグ 2nd ステージへと続きます。

1st ステージでは、これまでも言い続けてきた「アクション」をテーマに、自分たちからアクションを起こすという部分を重点的に見てきました。昨年12月に県 U-15 リーグ 1st ステージを終えた段階でチームの雰囲気はだいぶ良くなりました。

しかし、「アクション」というテーマに対して、理解している選手とまだまだ理解していない選手とがいるため、その結果が 1st ステージの成績に表れたのだと思います。

1st ステージを踏まえて、まずは、この部分を早急に改善していかなければ、決してクオリティの高い選手にならないでしょう。新年からは対外試合を増やしていきながら、さらに「アクション」を追求していこうと思っています。

【自己管理】

今の時期は、毎年、ケガや体調不良でコンディションが下がる選手が続出します。

選手である以上、プレーできないということが一番つらいことです。

ケガをしないように、グラウンドに来たら早めに準備をして動き出す。風邪をひかないように、こまめにうがい手洗いを。といったように、最低限自分で行えることはあるはずですが。

今年一年は、しっかりした自己管理のもと、常に良いコンディションを整えてください。これは継続性を持つことが重要です。各自が、できる限り、好不調の波を小さくしていくことを考え、パフォーマンスが良かったり悪かったりにならないように意識して取り組んでいって欲しいと思います。

【県 U-15 リーグ 2nd ステージ】

2nd ステージは、抽選により5チームグループに入りました。

大会期間は1/8(土)~3/13(日)となり、この期間に4試合を行います。

対戦相手は下記のとおりです。

試合日程については現時点では決まっていないので、決まり次第、お知らせしていきます。保護者の皆さん、ぜひグラウンドまで応援に来てください。

- ① 横浜市立南戸塚中学校
- ② 横浜市立原中学校
- ③ 湘南ルベント SCJY
- ④ Vida SC いさま JY

(二木 昭)

小 6

【公式戦に向けて】

6年生チームは、いよいよ県大会と神奈川県少年選手権の2大会を残すのみとなりました。どちらもトーナメント戦ということもあり、勝ち上がるには自分たちの実力はもちろんのこと、運も必要になってくることでしょう。本番では、その運を自分たちの方に引き寄せることができるよう、終了のホイッスルが鳴るまでひたむきにプレーしてもらいたいと思います。

【考えることの習慣化】

ジュニアとしてサッカーをする時間が残りわずかとなってきました。伝えたいことはまだまだありますが、3月まではディフェンスの基本をテーマにトレーニングを行う予定です。

1vs1 の状況で、まず何を狙うのか、いつどのタイミングで相手に寄せるのか、どのように足を出すのか、ボール保持者に何をさせてはいけないのか、いずれも考えることが要求されます。

ジュニアユース年代以降、感覚やひらめきだけでサッカーをしていては、いずれ通用しなくなる時がくるでしょう。判断の速さは、体格やスピードの差を補うファクターとなります。「どうして、なぜ」という習慣を身につけるために、まずは1vs1 のディフェンスというテーマから入り、考えることの大切さを知ってもらい、きっかけになればと思っています。

(鈴木 章弘)

小 5

【冬の高校サッカー】

新年あけましておめでとございます。今年度もよろしく願いいたします。

冬の高校選手権もラストとなってきました。今回は、前年度のチャンピオン山梨学院・準優勝の青森山田も敗退し優勝校が最後までどこの高校になるのかわからない！！これが近年の高校サッカーの楽しみになってきています。

(ワールドカップの優勝国を当てるのより難しいという説も一部ではあるくらいです。)

選手たちにも、1年間でサッカーのテレビ中継を多くやっているこの時期に、テレビやスタジアムで観て自分のサッカーにいい刺激を得て欲しいと思っていました。選手たちに何試合くらい高校サッカーを観たか初練習で聞いてみたいと思います。

【横浜市長杯について】

1月8日から横浜少年サッカー大会(市長杯)が開幕いたします。市長杯は、春季大会・国チビとは違いトーナメント方式の一発勝負になります。今回は、従来の公式戦とは違いメンバーを選考せずに全員で試合会場に行きたいと考えています。そのため、試合に出場できない選手・出場時間が少ない選手が出てくることを事前にご了承ください。よろしく願いいたします。(丸山 祐人)

小 4

【本年も宜しく願い申し上げます】

昨年は春季大会、国際チビと公式戦へも参加したくさんの経験が出来ました。小学4年生としての年度末まで残り3ヶ月ですが、引き続き元気に活動していきたいと思っています。

【親子サッカー】

12/23 には多数のご参加ありがとうございました。毎回ウォーミングアップを子供たちと一緒に行っていただいておりますが、徐々に難易度を上げております。今後も十分にご準備の上ご参加ください(笑) 冗談はさておき、親子サッカーは楽しむ半面、子供たちの成長を知っていただくよい機会ですので、保護者の皆様お忙しいとは思いますがご覧になるだけでも結構ですのでグラウンドへ足をお運びください。切なるお願いです。

【準備の意識】

楽しむ一方、「良い状態でサッカーを行う」ために必要な準備を自分自身ですることを早く身につけてもらいたいと思います。このことは子供たちに繰り返し伝えていますが、12/26 の練習試合の際は良くない面でそれが顕著に出ました。気温が低いのに防寒の準備がない、集合時間に遅れる、せっかく早く来てもボールに触らない、W-UP でサッカーをする準備をしない、などなど。同じ条件の中で、対戦相手がしっかりとサッカーをしていたことを見ると少し残念でした。もちろん当方の足りない部分はお詫びしながらですが、「プレーするのは自分、良い準備をすることが良いプレーに繋がる、必要な準備を自分で行う」ことを保護者の皆様からお願いいただき、サポートをお願いいたします。

(小野 津春)

小 3

【褒めること】

子どもたちは褒められることで、自信をつけ、意欲や自己肯定感を高めていきます。ベネッセコーポレーションの調査によると、「褒めるより叱るほうが多い」親御さんは 55%、「叱るより褒めることが多い」親御さんは 18%と、褒めたいと思っけていてもなかなか子どもへの期待と現実とのギャップで、叱ることのほうが多くなっているという結果が出ています。

かながわクラブでは、子どもたちを認めることと褒めることを中心において、サッカーの指導にあたっています。勿論その理由は子どもたちが意欲的にサッカーに取り組めるようにと考えてのことです。叱られて、それに発奮して成長することがあるということも否定しませんが、それはある程度人格形成が出来上がった人に対してのことでしょう。子どもたちは発展途上です。様々な可能性を秘めています。ただ、接し方を間違えれば取り返しのつかないことになってしまう恐れもあります。どんなことにも意欲

的に取り組む姿勢を身につけさせなくてはならない時期です。周囲の人たちから褒められることで、自信が付き、意欲的に取り組む姿勢を身につけていくのです。

【Happy Football Day 2010 にて…】

12月19日にかながわクラブのTopの選手主催による年に1回のHappy Football Day 2010が行われました。このときに各学年に敢闘賞とMVPが選出されました。普段の活動の中では、とりわけ上手というわけではなく、なかなかスポットライトが当たらない子どもたちが、それぞれ敢闘賞とMVPを受賞しました。彼ら二人に共通していることは「楽しそうに取り組んでいたこと」と「一生懸命にプレーをしていたこと」です。表彰式のときの彼らの照れながらも嬉しそうな表情を見て、Topの選手たちがかながわクラブらしい選考基準で選んでくれたことに感謝するとともに、かながわクラブの幼児・小1からTopにまで一貫して脈々と流れる「サッカーは楽しいもの」ということを具現化してもらったようで、密かに嬉しく思いました。恐らく彼ら二人は今後も楽しく、一生懸命にサッカーを続けてくれると思います。

【試合での評価】

12月の5日、11日と招待試合がありました。結果は負けることのほうが圧倒的に多いのですが、そんな中でも子どもたちの光るプレーは評価して(褒めて)あげたいものです。特にこうした招待試合では順位をつけたり、チームの中から優秀選手を選出したりすることがあります。この優秀選手というのがなかなか難しく、基本的には誰にも分かりやすいように得点者(なかでも最も多くの得点を決めた選手)が選ばれることが多くなります。この年代ではそれで良いと思っています。なぜなら、まだチームプレーというものを理解して試合を行っているわけではありません。また、ポジションを厳格に決めて試合に臨んでいるわけで

はありません。試合に出ている誰にも得点のチャンスが平等に与えられているのですから。この2日間に優秀選手となった選手はやはり評価に値する活躍だったのだと思います。

平成22年度のJリーグMVPに名古屋グランパスの榑崎正剛選手が選ばれました。ゴールキーパーとしては初めての出選だったそうです。彼は「これによって日本中のゴールキーパーに希望を与えることが出来たら…」と述べています。得点を決めることは勝利につながりますが、得点を阻むことは直接勝利に結びつかないことが多くあります。そういった意味で今回の榑崎選手の受賞は意味のあることだと思います。

価値観の違いと言ってしまうかもしれませんが、保護者の方々には子どもたちが試合で見せるあらゆるプレーを褒めてあげてほしいものです。

【どのように褒める?】

2つの例を挙げて褒めることの大切さを説いてきました。ここでポイントとなるのは、①他の子どもと比べない

②様々な観点から褒める

③即座に褒める

ということです。それ以外にもいくつかポイントとなるものがあります。

④現状維持でも褒めること。

改善は見られなくても子育てや教育は結果が全てではないはず。取り組む姿勢を褒めて向上心を高めるようにしましょう。⑤短所は言い換えること。

マイナス面には目をつぶり、発想を転換して、秘められた長所を見つけて褒めるようにしましょう。

⑥一歩下がること。

できて当たり前ということができなくても、一歩下がって長所として捉えましょう。「字は雑だが書ける」など、これまでの成長を振り返り、ありのままの姿を認めて褒めましょう。

【いよいよ4年生】

年が明けると間もなく4年生になります。春から公式戦に参加するようになり

ます。公式戦のなかで、どれくらい褒めることができるか自分としても楽しみです。保護者の方々も、是非「褒めてあげよう」という意識で新たな一年を過ごしていただけたらと、年頭に当たり、切に願うばかりです。(佐藤 敏明)

小2

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2年生もあと3ヶ月、楽しくサッカーできるように、保護者の皆さんにはこれまでどおりご協力の程、よろしくお願いいたします。

さて、サッカーには3つのBと言う重要な要素があります。

①ボールコントロール

これは目に見えるサッカーの基本です。ボールを止める、蹴ることです。ではどうしたら上手にボールを蹴って止められるかという、それは個人差はありますがボールを触った回数に比例するといっていていいでしょう。毎日リフティングをしていれば何回でもできるようになるのと一緒にです。と言うことで毎日ボールに触ってうまくなってください。

②ボディーバランス

おおきな意味での体の使い方です。まずは走り方から対人プレーにおける体の向き等ボールを使わなくてもできる練習からボールを使ってする練習まで、いろいろな練習によりボディーバランスを身につけたいと思っています。

③ブレイン

これは勉強ができると言うことではありません。

毎回言っているように、今は何処がいているんだろう?どちら側にドリブルをしたらチャンスだろう?などを自分で考え、自分で選択し、自分で判断することが重要です。この時期に創造力を育てることはとても大切だと考えています。

この3点を意識して練習してください。

去年は1年生の時より試合が多く、新

しい仲間も増え、楽しくサッカーができ、学ぶべき点も多かったと思います。私も練習よりも実戦ほうが得るものが多いと思いました。

また、ここ数ヶ月は「浮き球のコントロール」「マイボールになったとき顔を上げる」といったことぐらいしか伝えていません。

もっと具体的にああして、こうして、こうなさい、といったことも言えるのですが、私としては上記をするためには何が必要かを気付いて欲しいと思っております。リフティングにしても、直接役には立ちませんがボールをコントロールすると言う意味では大いに役立ちます。といった具合につまらなそうな練習も意味のある練習に繋がっていくことを知って欲しいのです。試合に勝ちたい！と言う気持ちは試合を見ていて感じました。が、しかし、勝つために何を練習したらいいか？どうしたらうまくなれるか？を自分で（保護者の皆さんや他の人から言われるのではなく）考えることが必要です。地道な練習が確実にみんなをうまくしてくれるはずですが、今後も試合をする機会があると思いますが、1ランク強いチームになるために練習しておきましょう！

(益子 伸孝)

幼児・小 1

皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

おかげさまで、幼児・小1クラスは30名に届くほどの大所帯となりました。メンバーが固まりつつあった秋以降は、懇親会・忘年会・クリスマス親子サッカーと、保護者の皆さまとも交流する機会も増え、いろいろな目標とたくさんの楽しみと共に新年を迎えることが出来ました。

2年目となる今年は、『個々のボール扱いの技術を向上させ、サッカーの楽しさをもっともっと味わう』『対外試合の機会を多く設けて、技術の必要性を体感しながら、勝つ喜びを味わう』そして『サッカーに限らず、自ら考え、行動し、

自分の言葉で意思表示できるようになる』を具体的目標とし、次の言葉を、担当コーチとしての決意として表明したいと思います。

平凡な教師(コーチ)は言って聞かせる。

よい教師(コーチ)は説明する。

優秀な教師(コーチ)はやってみせる。

しかし、

最高の教師(コーチ)は、子供の心に火をつける。

(ウィリアム・ウォード：アメリカの教育者、作家 1921年 - 1994年)

(浜野 正男)

Papas

【おめでとうございます】

新年明けましておめでとうございます。大変早いのですが、年末恒例の新年度シニアリーグ登録もRec、Compとも無事終了しました。新しくRec&Compに入る方、CompからRecに移籍する方、新しいチームで怪我のない壮年サッカーを楽しみましょう。

Rec&Compを退部される方、休部される方、これまで一緒にプレーをしていただきありがとうございました。

まだまだ壮年サッカーは続きます。日曜早朝の港北小の活動も続きます。永く永く壮年サッカーと一緒に楽しみましょう。

県シニアリーグも四十雀の上に五十雀、六十雀と続きます。七十雀も活動しています。

幸せなことに健康でサッカーを楽しめる体力さえあれば、文字通り、生涯サッカーが楽しめます。どうぞ20年後、30年後にまだピッチに立っているご自身を想像してみてください。これを初夢に終わらせよう健康に留意して今年も怪我のない壮年サッカーを楽しみましょう。(茅野 英一)

ヨーガ

【UFO!?!】

新年、あけましておめでとうございます。

穏やかな天気のお正月・・・と思っていたら、日本全国のうち、こんなに良いお天気だったのは、関東地方の一部のようです。とくに山陰地方の雪はすごかったみたいですね。私の学んでいる、ヨーガ・ニケタン本部のある米子の映像が、ニュースで流れていてビックリしました。

そうなんだ～・・・なんて呑気に夕空を眺めていた、1月2日。「あれ？」なんだかやけに眩しく光るものが空を飛んでいます。「なんだろう・・・。」と思っている間にスーっと消えてしまいました。

啞然と空を眺め続けていると、また、他の場所にその光る物体が！？少し離れたところを飛行機が飛んでいます、それとは違うものようです。「え～？？？」と家族を「UEOだ～！！！」と叫んで呼びましたが、誰も反応してくれません。

何度か現れては消えて、そのうちにいなくなってしまうました。あれは、何だったのでしょうか・・・。

新年早々にUFO目撃？今年も面白い年になりそうです。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

(伊藤 玲子)

たわごと
理事長の戯言

【液晶テレビ】

ついには買いました！液晶テレビ！

40 インチです。

今まで 25 型のブラウン管でしたので、かなりの迫力があります。

しかし、サイズを測り間違えたのか、リビングにうまく収まりません。。。地デジは映る時と映らない時があり、たまにフリーズします。。。アナログ放送は文字がつぶれてよく見えません。。。う～ん。。。

(内田 佳彦)